

平成26年度
こどもエコクラブ全国フェスティバル2015
～みんなで決める★こどもエコクラブ大賞！～
実施報告書



はじめに

こどもエコクラブ事業は、子どもたちが広く環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に参加する姿勢および環境問題解決に資する能力を育成することを目的として平成 7 年度よりスタートしました。平成 26 年度は、全国で 2,199 クラブ、105,904 人の幼児から高校生までの子どもたちが、自然観察、家庭や学校での省エネ活動、リサイクル活動、生きもの調査などさまざまな活動に取り組みました。

平成 27 年 3 月にこどもエコクラブの1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとに日々の活動などを発表して交流を深めるとともに、仲間のプレゼンテーションに投票をしあい、自分たちで「こどもエコクラブ大賞」のクラブを選びました。また、企業・団体展示コーナーを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく考える機会を持ちました。この全国フェスティバルで学んだことや多くの仲間との交流した経験は、参加した子どもたちのこれからの励みになるだけでなく、子どもたちを通じて多くの人たちにも伝わっていくことと思います。

本報告書は、全国フェスティバルの当日の様子をまとめたものです。こどもエコクラブ事業をご理解いただき、今後の活動を応援する上で、ご参考になれば幸いです。

目次

開催概要	3	こどもエコクラブ大賞 本選	9
プログラム	4	来賓の挨拶	11
オープニングセレモニー	5	表彰式	11
交流タイム	5	受賞作品 一覧	12
こどもエコクラブ大賞 予選	5	クロージングセレモニー	16
絵日記受賞メンバー ディスカッションとワークショップ	6	子どもたちからの活動レポート	18
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう!	7	サポーターからの声	18
昼食	9	代表クラブ紹介	19
午後のオープニング	9	広報・普及活動	20

開催概要

- イベント名:「こどもエコクラブ全国フェスティバル2015 ～みんなで決める★こどもエコクラブ大賞！～」
- 実施目的:熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わり場を提供する。

知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 : 2015年3月29日(日)
- 会場 : 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院 63号館(東京都新宿区大久保三丁目4-1)
- 主催 : 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 : 環境省、文部科学省、厚生労働省、公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 出展企業・団体:
東洋ライス株式会社、株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、トヨタ自動車株式会社、文化シヤッター株式会社、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、三井化学株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、エコマーク事務局
- 協力 : 早稲田大学、株式会社ニコン、日本コカ・コーラ株式会社、株式会社ミールケア、三井不動産株式会社、株式会社龍角散
- 参加者 : 507名
 - ・都道府県代表クラブ:342名(子ども191名、大人151名)
 - ・審査員推薦クラブ:6名(子ども4名、大人2名)
 - ・絵日記受賞メンバー:11名(子ども6名、大人5名)
 - ・一般クラブ:10名(子ども1名、大人9名)
 - ・こどもエコクラブ自治体担当者:17名
 - ・企業・団体担当者:57名
 - ・関係者:64名

○都道府県代表クラブ

1年間の活動等をまとめた壁新聞をもとに、選考委員会にて選ばれた各都道府県の代表クラブ

○審査員推薦クラブ

都道府県代表に惜しくも届かなかったものの、それと同等として審査員の推薦を得たクラブ

○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等をかいた絵日記をもとに、選考委員会にて選ばれた優秀賞受賞メンバー

プログラム

時 間	プログラム	展 示
8:30～ 9:30	◆集合、受付	
9:30～10:00	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ/楽しくエコを考える演劇パフォーマンス(みーる劇団)	
10:00～10:30	◆交流タイム「クラブ de ビンゴ！」 時間内にできるだけたくさんの仲間と名刺交換、集めた名刺のクラブ名をビンゴシートに書いて、いくつのビンゴがそろるか競争	
10:30～12:05	◆こどもエコクラブ大賞 予選 6つのチームに分かれて、壁新聞をもとにクラブの活動を発表しあい、チーム内で投票してチーム No.1 クラブを決定	
	◆絵日記チーム:絵日記をかいた仲間とのディスカッションとワークショップを実施	
12:05～12:20	◆企業・団体の紹介 ・こどもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に優しい取り組み内容の紹介	
12:20～13:50	◆昼食 ◆企業団体の環境への取り組みを学ぼう	
13:50～14:05	◆集合写真撮影	
14:05～14:20	◆午後のオープニング 楽しい歌のステージ(ソプラノ歌手・雨谷麻世さん)	
14:25～15:20	◆こどもエコクラブ大賞 本選 予選でチーム No.1 になった 6 つのクラブがステージで活動発表。参加者全員が一番良かったクラブに一人一票投票し、「こどもエコクラブ大賞」を決定	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
15:25～15:30	◆来賓挨拶 環境大臣政務官 高橋ひなこ氏	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票
15:30～16:10	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:広島県福山市「めだかの学校」 文部科学大臣賞:青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」 日本環境協会賞:静岡県富士市「原田湧水クラブ」 読売新聞社賞:北海道北見市「オホーツクエコクラブ」 早稲田大学賞:高知県香美市「香美市こどもエコクラブなかよしエコクラブ」 東洋ライズ賞:徳島県三好市「ホタルと共に暮らし隊」 エコマーク賞:兵庫県姫路市「しらさぎチアーズ」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 青森県十和田市「学校法人さつき学園認定こども園さつき幼稚園」 大阪府高槻市「ひじりがおかほいくえん レインボーズ 2014」 【絵日記部門】優秀賞: 小平 玖音さん(群馬県前橋市「なんきつ子どもエコクラブ」) 高村 百合子さん(静岡県御殿場市「YKM」) 松尾 耀さん(京都府京都市「かつらがわエコキッズ」) 中井 真瞳さん(兵庫県神戸市「玉一アクアリウム」) 松本 知也さん(岡山県津山市「わくわくエコクラブ」) 【活動フォトコンテスト年間賞】 平成 26 年度こどもエコクラブ賞:兵庫県神戸市「玉一アクアリウム」 平成 26 年度ニコン賞:岡山県岡山市「岡山ハッケンジャー」	・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧 ・早稲田大学 学生 環境 NPO 環境ロードリゲス紹介
16:10～16:30	クロージングセレモニー ・こどもエコクラブ大賞の発表・表彰:岐阜県山県市「高富中学校生物部(Gyobu)」 ・一日のふりかえり ・こどもエコクラブ憲章の読み上げと閉会の挨拶	

オープニングセレモニー

子どもたちが主役のこどもエコクラブ！東京都の代表クラブに選ばれた「こどもエコ広場新宿」のメンバーが、司会として全国から東京にやってきた仲間を元気に迎えました。

こどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」も子どもたちを歓迎する中、全国のクラブの中から各都道府県の代表クラブや絵日記受賞メンバー等 507 名が早稲田大学西早稲田キャンパスに集まりました。

オープニングでは、みーる劇団による食育劇「りょうたくんとくにちゃんの大冒険～野菜星を救え～」が上演され、楽しい雰囲気でのスタートとなりました。



子どもたちによる司会



みーる劇団の食育劇



全国フェスティバルの運営には、こどもエコクラブ OB・OG の All Japan Youth Eco-club メンバーや早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス等が手伝ってくれました。

交流タイム

みんなが全国フェスティバルを楽しめるよう、まず始めにアイスブレイク。この時間はこどもエコクラブ OB・OG の All Japan Youth Eco-club のお兄さん・お姉さんが進行を務め、たくさんの仲間と交流するプログラム「クラブ de ビンゴ！」を行いました。まずは10分の制限時間内になるべく多くの仲間と名刺交換。集めた名刺の中から8枚を選んで、ビンゴシートにクラブ名を書いたらビンゴのスタートです。クラブ名が書かれたくじが引かれて読み上げられるたびに、会場からどよめきが！なんと2列がビンゴになったメンバーもいて、驚きの拍手が起きました。



こどもエコクラブ大賞 予選

メンバーたちは、赤・青・黄・緑・白・紫の6つのチームに分かれて、日頃行っている環境活動の発表を参加各クラブが行いました。劇仕立てで発表するクラブ、クイズ形式で発表するクラブ、手作りのパネルやさまざまな小道具を使って発表するクラブなど、どのクラブも趣向を凝らした表現で、自分たちが一年間打ち込んできた環境活動をアピールしました。チーム内の発表が終わると、1クラブが各1票を投票し、チーム代表として本選に出場するクラブを決定しました。

チーム予選の進行は、All Japan Youth Eco-club のメンバーと早稲田大学の環境ロドリゲスの学生に担当していただきました。子どもたちと年齢が近い大学生たちをファシリテーターとすることで、メンバーもあまり緊張せず、活気あふれる予

選となりました。子どもたちはもちろん、All Japan Youth Eco-club のメンバーも環境ロドリゲスの学生たちも、子どもたちの活動を知ることで、たくさんの刺激とこれからの活動意欲を得ることができたようです。



◎ 本選出場クラブ

真岡児童館やさしクラブ(栃木県)

原田湧水クラブ(静岡県)

大安中学校テクニカルボランティア部(三重県)

MIYASHIRO エコ☆スターズ(埼玉県)

高富中学校生物部(Gyobu)(岐阜県)

広西地球環境クラブ(熊本県)

絵日記受賞メンバー ディスカッションとワークショップ

絵日記部門受賞メンバーは、日本環境協会「こども環境相談室」の岡本相談員のファシリテートのもと、それぞれの絵日記をもとにしたディスカッションを行いました。まず始めに、自分がかいた絵日記を発表し、その絵日記について岡本さんからの講評を受けたり、質疑応答をしたりして、それぞれの印象深い活動を振り返りました。

ディスカッションの後は、今日だけのスペシャル授業「生き物はすごい！」を開講。植物や昆虫、鳥などが生き残るために備えている体の特徴や工夫を参考にして、いろいろな製品が作られています。オナモミの実の特徴を生かした製品はどれかな？ハスの葉の表面の特徴は、どんな製品に活用されたのかな？本物のキャベツやカタツムリ、フクロウの羽根まで用意されていて、実物を見ながら自然のすごさともものづくりの工夫について考える、とても楽しい授業でした。



企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

こどもエコクラブを応援している企業・団体の展示ブースを見学して、環境に優しい様々な取り組みについて学びました。企業・団体が取り組んでいる最新の活動について、担当者の方々から直接話を聞くことができ、子どもたちは新たな発見や地球環境をよくしていこうとする社会の動きを実感しました。

見学後に、子どもたちは、このプログラムを通して学んだこと・感じたことを書きとめ、「こどもエコクラブから各企業・団体へのメッセージ」として、日本地図の上に貼って展示しました。子どもたちのメッセージは、出展した企業・団体に届けられ、今後の環境にかかる活動の参考にさせていただきます。



企業・団体の出展内容

東洋ライス株式会社

精米時のぬかを田畑の肥料として利用したり、とぎ汁を排出しない無洗米を製品化することにより、食と農の循環に取り組んでいます。



株式会社エフピコ

使用済みトレーをトレーにリサイクルする「トレー to トレー」や「ボトル to トレー」で、国内でのリサイクルの大切さを紹介しました。



トヨタ自動車株式会社

水素を燃料とする究極のエコカーづくりへの取り組みと、自然との共生・地域との共生をテーマとした「トヨタ白川郷自然学校」の紹介をしました。



公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

PETボトルをリサイクルする工程でペレットや繊維になる様子を実物を見ながら解説し、リサイクルを呼びかけました。



株式会社三井住友銀行

銀行とエコの意外な関係として、エコ活動を行う企業・団体に低利子で融資を行ったり、店舗のグリーン化に取り組んだりしています。



株式会社イトーキ

その土地にある木で作った家具をその土地の施設で使う取り組みや、木や森の役割について紹介しました。木の温かみを感じることができました。



三井化学株式会社

海洋に流出した油を吸い取る実験を通じて、化学の力で環境を守る取り組みについて学びました。



王子ホールディングス株式会社

新しい紙製品や FSC マークの紹介をしました。FSC マークのついた製品を買うことで環境が守られることを知りました。



文化シャッター株式会社

ペットボトルのキャップを砕いたものと木材を混ぜることで、腐りにくく水や虫に強い、環境にやさしい商品ができました。木の香りに癒されました。



MS&AD インシュアランスグループ

コハクチョウのぬいぐるみは実物と同じ重さに作られていて、7kg というその重さに驚かされました。渡り鳥の生息する水辺の環境保全活動を紹介しました。



エコマーク事務局

商品のライフサイクルを考えて作られたものにだけエコマークがついていることをクイズを通して知り、これからの商品選びの参考になりました。



◎ 昼食

早稲田大学のカフェテリアでランチタイム！いきものみつけファーム in 山梨中央でとれたお米を使ったお弁当は格別の味でした。お弁当のおどもの飲み物「い・ろ・は・す (ILOHAS)」を日本コカ・コーラからご提供いただきました。



午後のオープニング

午後はソプラノ歌手・雨谷麻世さんによる歌のステージで開幕です。最後の歌では会場も一体となってダンスを踊りました。



こどもエコクラブ大賞 本選

予選で選ばれた6クラブが満を持しての登場、今度はステージで活動発表を行いました。どのクラブも、これまで地域や地球の環境のために行ってきた活動について、気持ちを込めて発表しました。おそろいの衣装に身を包んだり、写真やパネルを見せたりと、工夫をこらした発表に、会場からは驚きの声や笑顔がこぼれました。



白チーム

代表：原田湧水クラブ（静岡県）

富士山の湧水を水源とする原田の川と、そこに自生するバイカモをはじめとした生き物を守るため、ゴミ拾いや観察をしています。



紫チーム

代表：高富中学校生物部（Gyobu）（岐阜県）

鳥羽川の調査や水生生物調査、ヒダサンショウウオの生態調査を実施、ヒダサンショウウオの産卵の録画にも挑戦しました。



緑チーム 代表:MIYASHIRO エコ☆スターズ(埼玉県)

ゴミ拾い競争や地産地消のエコッキング、廃材を利用した工作など、ユニークなネーミングを工夫した活動は、地域の多くの参加者を集めています。



黄チーム 代表:真岡児童館やさしクラブ(栃木県)

つかみ取りしたマスの内臓を取り出し焼いて食べた体験から、命の大切さ、「いただきます」の言葉に込められた意味を感じました。



青チーム 代表:大安中学校テクニカルボランティア部(三重県)

廃材を利用して作った木工品を販売し、その売り上げで、スリランカ・カンボジアなど水の少ない国に井戸を寄付する国際貢献をしています



赤チーム 代表:広西地球環境クラブ(熊本県)

阿蘇の湧き水をいつまでも残していくために湧き水マップを作り、さまざまな湧き水の使い道と大切さを地域に呼び掛けました。

発表の後の質疑応答では、子どもたちから次々と手が挙がり、これからの自分たちの活動に生かせるようにと意欲的な質問が飛びました。



投票

「みんなで決める」のキャッチフレーズどおり、最後は参加したすべてのメンバー・サポーターが審査員となって「こどもエコクラブ大賞」を決定します。「楽しそうな活動か」「自分たちもやってみたい活動か」「発表はわかりやすかったか」の3項目について、1項目5点満点で採点しました。一人に1つずつ配られたスーパーボールを、自分が一番いいと思ったクラブに投票しました。結果は、クロージングセレモニーでの発表となります。



来賓の挨拶



環境大臣政務官 高橋ひなこ氏が、子どもエコクラブ全国フェスティバルに駆けつけてくれました。集合写真撮影に加わっていただいた後、本選の活動発表を見学しエールをいただきました。

表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動をかいた絵日記をもとに、地域の特性を生かした活動や独自の発想で活動を行っているクラブ・メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。



壁新聞部門 環境大臣賞:めだかの学校

壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	めだかの学校(広島県福山市)
文部科学大臣賞	HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)
日本環境協会賞	原田湧水クラブ(静岡県富士市)
読売新聞社賞	オホーツクエコクラブ(北海道北見市)
早稲田大学賞	香美市子どもエコクラブなかよしエコクラブ(高知県香美市)
東洋ライズ賞	ホテルと共に暮らし隊(徳島県三好市)
エコマーク賞	しらすぎチアーズ(兵庫県姫路市)



文部科学大臣賞:HEP21 エコクラブ



日本環境協会賞:原田湧水クラブ



読売新聞社賞:オホーツクエコクラブ



早稲田大学賞:香美市子どもエコクラブなかよしエコクラブ



東洋ライズ賞:ホテルと共に暮らし隊



エコマーク賞:しらすぎチアーズ

絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	なんきつ子どもエコクラブ(群馬県前橋市)	小平 玖音さん(欠席)
優秀賞	YKM(静岡県御殿場市)	高村 百合子さん
優秀賞	かつらがわエコキッズ(京都府京都市)	松尾 權さん
優秀賞	玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)	中井 真瞳さん
優秀賞	わくわくエコクラブ(岡山県津山市)	松本 知也さん



● 受賞作品一覧

壁新聞



◆環境大臣賞
めだかの学校(広島県福山市)
○壁新聞タイトル
「さあ 行こう! 芦田川探検」
○活動のテーマ
新たな出会いを楽しみ、
しっかり学ぼう。



◆文部科学大臣賞
HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)
○壁新聞タイトル
「ぼくたちとたんぶり池の仲間たち
〜ドキュメント・2014〜」
○活動のテーマ
できる時にできる人と、できる環境活動
を楽しもう



◆日本環境協会賞
原田湧水クラブ(静岡県富士市)
○壁新聞タイトル
「きれいな湧き水は富士山
からのおくりもの」
○活動のテーマ
富士山の湧水のわき出る原田の
まちのすばらしさを知る貴重な水
草、バイカモを守っていこう!!

壁新聞



◆読売新聞社賞

オホーツクエコクラブ(北海道北見市)

○壁新聞タイトル

「未来に残そう オホーツク海の流氷」

○活動のテーマ

『未来に残したい』身近なものについてみんなで話し合いました。地球環境の急激な変化に伴い、自然現象がみられなくなるのではないかとという危機感から、身近である「オホーツク海の流氷」をテーマにして、壁新聞にまとめました。



◆早稲田大学賞

香美市子どもエコクラブなかよしエコクラブ

(高知県香美市)

○壁新聞タイトル

「わたしらあが地きゆうを守るがやき!!」

○活動のテーマ

私たちが地球を守る!



◆東洋ライズ賞

ホテルとともに暮らし隊(長野県坂城町)

○壁新聞タイトル

「ホテル新聞」

○活動のテーマ

見直すことで見えてくるもの



◆エコマーク賞

しらすぎチアーズ(兵庫県姫路市)

○壁新聞タイトル

「地産地消 エネルギー」

○活動のテーマ

資源とエネルギー

絵日記



◆優秀賞
なんきつ子どもエコクラブ
(群馬県前橋市)
小平 玖音さん
○絵日記タイトル
「大きく育ってね」



◆優秀賞
YKM(静岡県御殿場市)
高村 百合子さん
○絵日記タイトル
「わらじ祭りせいさくと
バケツいね作り」



◆優秀賞
かつらがわエコキッズ
(京都府京都市)
松尾 權さん
○絵日記タイトル
「かつら川バードウォッチング」



◆優秀賞
玉一アクアリウム
(兵庫県神戸市)
中井 真瞳さん
○絵日記タイトル
「アユの受精の体験」



◆優秀賞
わくわくエコクラブ
(岡山県津山市)
松本 知也さん
○絵日記タイトル
「ももの受ふんをしたよ」

○ 幼児クラブを対象とした審査と「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行って上位 2 クラブに株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈しました。受賞クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて、表彰状と絵本『こんもり森のまほうのレストラン』を授与し、メンバーと一緒に体験プログラムを実施しました。



学校法人さつき学園認定こども園
さつき幼稚園(青森県十和田市)
○壁新聞タイトル
「もったいないアースレンジャー」



体験プログラムのようす
※学校法人さつき学園認定こども園さつき幼稚園にて



ひじりがおかほいくえん レインボーズ 2014
(大阪府高槻市)
○壁新聞タイトル
「ひじりがおかほいくえん レインボーズ新聞」



体験プログラムのようす
※ひじりがおかほいくえん レインボーズ 2014 にて

🟢 クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定（協力：株式会社ニコン）

こどもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いを、多くの人に知ってもらうために行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の平成26年度 第1期～第3期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票によって年間賞を決定しました。



◆平成26年度こどもエコクラブ賞
玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)
「阪神淡路大震災1.17のつどい参加」



◆平成26年度ニコン賞
岡山ハッケンジャー(岡山県岡山市)
「用水路生き物調査夏」



投票の様子

クロージングセレモニー

🟢 こどもエコクラブ大賞の発表・表彰

まずは、みんなドキドキの「こどもエコクラブ大賞」投票結果の発表からスタートです。チームごとの投票箱の重さを計測し、一番重かった箱のクラブが「こどもエコクラブ大賞」に決定です。参加者みんなが見守った計測の結果、岐阜県の「高富中学校生物部(Gyobu)」が平成26年度の「こどもエコクラブ大賞」の栄冠に輝きました！

受賞クラブだけでなく、参加した全てのクラブの健闘を称える暖かい拍手が会場中からわき起こりました。



◆こどもエコクラブ大賞
高富中学校生物部(Gyobu)
(岐阜県山県市)
○壁新聞タイトル
「地域の生き物の生態調査と地域発信」



◎ 振り返り

子どもたちは、全国の仲間たちとの交流や企業・団体ブースの見学など、今日 1 日の体験の中で「わかったこと」「学んだこと」などを発表しました。また、最後にこどもエコクラブ憲章を読み上げ、これからはエコ活動を続けていこうと、それぞれの新たな目標を胸に「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2015 ～みんなで決める★こどもエコクラブ大賞！～」を閉幕しました。



◎ みんなで集まって集合写真



子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブは、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを活動レポートにまとめました。レポートは、全国の仲間やコーディネーター（自治体担当者）等と共有するため、こどもエコクラブウェブサイト(<http://www.j-ecoclub.jp/>)にて紹介しています。



サポーターからの声(一部抜粋)

子どもたちと一緒にいろいろなことを学ばせていただき、とても楽しかったです。また家族で参加できるよう、これからもがんばろうと思います。

ユースのみなさん、運営がんばっていましたね。参加した子どもたちが、「大きくなったらユースのお兄さんお姉さんみたいになりたいな…」と思うように、もっと自己アピールしてもよいと思いました。お疲れさまでした。

たくさんの人に支えられていることが、よくわかりました。

参加クラブ紹介

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
北海道	北見市	オホーツクエコクラブ	未来に残そう オホーツク海の流水
青森県	弘前市	HEP21エコクラブ	ぼくたちとだんぶり池の仲間たち～ドキュメント・2014～
岩手県	奥州市	古道下・要害こどもエコクラブ	小岩井農場ホテル生息地研修
宮城県	石巻市	イオン石巻チアーズクラブ	自然と太陽
秋田県	秋田市	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	郷土秋田の力になろう！
福島県	郡山市	湖南エコクラブ	湖南エコクラブ新聞
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	逆川こどもエコクラブ⑩
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	「命」あたりまえにあるけれど
群馬県	沼田市	しらさわエコキッズクラブ	白エコニュース・しらエコの春夏秋冬・しらエコ尾瀬特集
埼玉県	宮代町	MIYASHIROエコ☆スターズ	輝けエコの星 エコスタ新聞
千葉県	大網白里市	ぬく森エコクラブ	ぬく森エコだより
東京都	新宿区	こどもエコ広場新宿	こどもエコ広場新宿
神奈川県	大和市	引地川水とみどりの会こどもエコクラブ	引地川Clean戦隊ゴーレンジャー 2014
山梨県	甲府市	和泉エコクラブ	富士山のふもとでちょこっとエコ
岐阜県	山県市	高富中学校生物部(Gyobu)	高富中学校生物部(Gyobu)
静岡県	富士市	原田湧水クラブ	きれいな湧き水は富士山からのおくりもの
静岡県	静岡市	イオン清水チアーズクラブ*	①皮むき間伐の効果 ②冬の森と太陽の関係 ③自然のめぐみいっぱい西伊豆・松崎
愛知県	半田市	半田こどもエコクラブ	春夏秋冬エコ新聞
三重県	いなべ市	大安中学校テクニカルボランティア部	大安中学校テクニカルボランティア部の活動
滋賀県	草津市	渋川小学校生き物学習実行委員会	渋川いきものがたり
京都府	南山城村	笠置中学校エコクラブ	水生昆虫を絶滅の危機から守れ
大阪府	茨木市	アンブレラ	ECO 新聞
兵庫県	姫路市	しらさぎチアーズ	地産地消 エネルギー
奈良県	斑鳩町	福祉・環境委員会	斑小エコ新聞
鳥取県	米子市	それ行け中海探検	美しい中海を復活させよう！2014
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞Ⅷ
岡山県	岡山市	イオン岡山チアーズクラブ	1年間の活動のまとめ
広島県	福山市	めだかの学校	さあ 行こう！芦田川探検
徳島県	三好市	ホテルと共に暮らし隊	ホテル新聞
香川県	高松市	さぬきこどもエコクラブ	農薬0、エコライフ
愛媛県	新居浜市	レインボーキッズ	地域・共生・絆 キラキラ2014
愛媛県	新居浜市	イオン新居浜チアーズクラブ*	2014年度 イオン新居浜チアーズクラブ 活動報告
高知県	香美市	香美市こどもエコクラブ なかよしエコクラブ	わたしらあが地きゅうを守るがやき!!
福岡県	筑紫野市	エコまめクラブ	見てさわってまなんで楽しんだいきものたちとのふれあい
長崎県	平戸市	下里エコクラブ	エコクラブ活動報告
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ（広安西小学校環境委員会）	①阿蘇の湧き水を未来へ～広安湧き水ふれあい学校プロジェクト～ ②広安エコリンピック2014
大分県	大分市	大分県立大分東高等学校リポベジ研究会	リポベジから始まるゴミ減量
宮崎県	都城市	五十市中学校	You&I（結）物語
鹿児島県	鹿児島市	イオン鹿児島店チアーズクラブ	くろぶ～が行く、桜島の自然
沖縄県	本部町	もとぶ元気村こどもエコクラブ	どんぐりの森は海の恋人

*は審査員推薦クラブ

広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブニュースレター(60,000部)に全国フェスティバル開催について掲載し、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発送。
- ・日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省・文部科学省 記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ SNSによる周知 など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、全国紙・地方紙・専門紙、各自治体、他にも共催・協賛・協力企業各社、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

◆環境省



環境省 HP フォトレポート(2015. 3.29)

◆地方自治体(一部抜粋)



埼玉県宮代町 参加報告(2015.4.9)



広島県福山市 参加報告(2015.4.15)



大阪府茨木市 市長激励(2015.3.26)

◆マスコミ(一部抜粋)



中日新聞(2015.3.29)



陸奥新報(2015.3.7)

◆企業・団体等(一部抜粋)



株式会社イトーキ(2015.4.8)



公益財団法人
日本容器包装リサイクル協会
(2015.3.31)



三井化学株式会社(2015.3.31)

◆クラブ(一部抜粋)



神奈川県代表「引地川水とみどりの会子どもエコクラブ」
(2015.3.29)



茨城県代表
「逆川子どもエコクラブ」
(2015.3.31)

『子どもエコクラブ全国フェスティバル 2015 ～みんなで決める★子どもエコクラブ大賞～』に対して、
子どもたちの環境活動を応援する企業・団体より、ご支援・ご協力をいただきました。

◆出展企業・団体

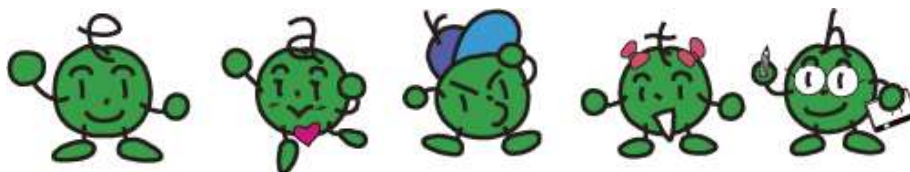
東洋ライス株式会社、株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、
トヨタ自動車株式会社、文化シャッター株式会社、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、
三井化学株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、エコマーク事務局

◆後援

環境省、文部科学省、厚生労働省、公益社団法人子ども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK

子どもエコクラブ事業は、多くの企業・団体の支援により実施しております。

株式会社アライアンス、株式会社イトーキ、エコ・ファースト推進協議会、株式会社エフピコ、
王子ホールディングス株式会社、岡山東法人会、カネパッケージ株式会社、キリン株式会社、
株式会社きんでん、コカ・コーラウエスト株式会社、清水建設株式会社、住商フーズ株式会社、全労済、
総合ハウジングサービス株式会社、高砂熱学工業株式会社、高杉製薬株式会社、
株式会社チェンジフィールド、鉄建建設株式会社、株式会社東京交通会館、
株式会社東京国際フォーラム、東京建物株式会社、株式会社東京都民銀行、株式会社東芝、
東洋ライス株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社ニコン、株式会社西日本ビル代行、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、株式会社長谷工コーポレーション、
株式会社バンダイナムコホールディングス、富国運輸株式会社、株式会社ブリヂストン、
文化シャッター株式会社、株式会社ミールケア、三井化学株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、
株式会社三井住友銀行、三井不動産株式会社、三菱地所株式会社、株式会社山田養蜂場、
リッキーシステムソリューション株式会社、株式会社龍角散、ロックペイント株式会社



■ 公益財団法人日本環境協会(子どもエコクラブ全国事務局)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

子どもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>